キャラクター名
殻谷珠音（からたに　たまね）

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル	ノイマン	年齢	15	性別	女
覚醒	償い	衝動	妄想	初期侵食率	36 %
出自	心の壁	経験	複数の兄弟姉妹がいる	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0	1		7
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	35
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ノイズセイバー・オオヌエ	白兵	7r+10	3	14		アムブレ。対象のガード値-5
ライトセイバー・イザヨイ	白兵	7r+10	3	14		アムブレ。対象のガード値-5
ﾌｫﾄﾝｾｲﾊﾞｰ・ﾍﾑﾛｽﾄﾗ	白兵	7r+10	3	14		アムブレ。対象のガード値-5
ﾌﾟﾗｽﾞﾏｾｲﾊﾞｰ・ｺﾌｨﾝ	白兵	7r+10	3	14		アムブレ。対象のガード値-5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
携帯電話	
情報収集チーム	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
達人：マルチウェポン	P	N		
兄弟姉妹	P　尽力	N 猜疑心		
伊庭宗一	P　遺志	N　憎悪		
七海弓花	P 親近感	N　不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
C:ノイマン	2	2	メジャー			対決		
効果：C値-LV（下限7）								
マルチウェポン	1	5	メジャー	至近	自身	対決		
効果：二刀流。達人でD+2、攻撃力+5								
ヴァリアブルウェポン	1	3	メジャー	武器	単体	対決		
効果：白兵。武器をLV個装備								
竜鱗	2	3	リア		自身	自動		
効果：装甲値+LV*10								
ハードワイヤード	4		常時					
効果：アムブレ4本。侵蝕+4								
エンブレム：最強の一振り	1							
効果：所持アムブレ攻撃力+5								
タッピングオンエア	1	1	メジャー	視界		自動		
効果：無線傍受、電波で画像や音声を送受信								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGN関係者の家系から生まれ、幼い頃から組織に育てられたチルドレン。
と、されているが実際はオリジナルから作られたクローン体。兄弟姉妹ということにしている見た目が瓜二つの個体が複数体いる。

マイペースで斜に構えた性格だが、常に冷めた表情をしているため感情が薄いやら冷血な性格などと誤解されがち。
表には出さないが、姉妹の事を第一に考えており、そのためには他を切り捨てることに躊躇はない。
新しいもの好きで近接武器に対して強いこだわりを持っており、UGNが試作開発した近接武器のテスターに志願することが多い。

4本の光剣は愛用の品。高出力で展開される灰色の光刃は強力な威力を持つが、取り扱いが難しく自身を焼き切りかねない危険な試作品。
とある映像作品にハマっていた珠音はその在り様に一目惚れして絶対に使うと決意。
チルドレン教官の反対を押し切って火傷と練習を重ね、使いこなせるようになる頃には訓練生の中でもトップクラスの剣技が身についていた。

姉が実験体にされていたことや姉妹達がクローンであることには何となく察しはついており、
UGNに対しては元からあまり信用しておらず、思い入れも特にない。
刀使いの姉がFHに転身した経緯と生い立ちを知り、自身もFHに移った。
案の定気の迷いが残っていたので、よく尻を蹴っ飛ばしている。
姉を害そうとするものや、任務で元同胞を斬り捨てていくうちにマスターエージェントとして認められていた。